

# Fusyo Collaboration letter



11月7日

No.31

文責 廣田 秀俊

## 附小 6 年万博開催！いろんな国のことを知ろう！！

“What do you want to go?” 聞き手からの質問に“I want to go to ~.”話し手が答えていきます。6 年生の教室で附属小の万博が開催されていました。

一人一人がいろんな国の紹介をしてくれています。どれも魅力のある、楽しそうな事柄ばかりです。国の紹介は 3 つの Hint Quiz で表現していました。たとえば、担任の先生からは、こんな国の紹介がありました。

【Hint1】 You can see Ice festival in Harbin. It's great !

【Hint2】 You can eat Tanyuen. It's sweet!

【Hint3】 You can see The Great Wall. It's beautiful !

Answer:I want to go to China! 先生のHintを聞いて、前時と比べながら、改めて気づいたことについて意見を出し合いました。話す順番の工夫や自分の思いや感想をつけ足していることがわかりました。



そこで、一人一人が選んだ国を確認し、今日の My goal を考えノートに記していききました。

「話す内容に自分の感想をつけて、より分かりやすいようにしましょう」「新しい内容をつけ加えるために、くわしく調べて言おう」「自分の感想をつけ足して、相手に分かりやすく言おう」など、それぞれの My goal が決定しました。

この事柄を受けて、グループでどんなことをしていけばいいのかを話し合いました。「誰が聞いても伝わるように話していく」「自分の感想を取り入れて、話す順番を考え、チーム内の交流を深めていく」。10 分間のグループワークで写真検索などで情報を収集し、友だちとその情報を共有していききました。



時間の経過とともに、グループ内での対話が増え、交流が深まっていきます。自分のスピーチを仲間に試しているグループ、アドバイスをしながら内容を高め合っているグループ。紹介スピーチがあちらこちらから聞こえてきます。



“You can see ~ . It's interesting.” “You can eat ~ . It's wonderful.”

“You can enjoy ~ . It's fun.”話し手の笑顔の中の真剣さと聞き手の興味関心を持った表情に、コミュニケーションのレベルアップがあらわれていました。書き込んだノートを持たずに、iPad の画面だけを見せながら伝えている姿がそのことを物語っていました。

「もっと練習したい!」「もっと内容をつけ足したい!」と子どもたちの声が広がっていききました。次は学年交流へとすすんでいきます。

